

ねじりはちまき

## 謹 賀 新 年

昨年中はひとかたならぬご厚誼を頂き、誠に有難く厚く御礼を申し上げます。本年もよろしくご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

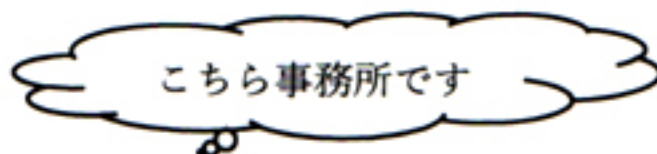
皆様御揃いで良い年を頂いた事とお慶び申し上げます。

おかげさまで私たちも、私が94歳、妻が90歳。共に90の坂道です。若い頃の愛情から友情。そして今は同情の老成時代とでも言いますか、毎日が国会討論のように口だけは達者です。これからも、支えてくれる子供たちに感謝しながら健康第一に生きていきたいと思えます。

皆様と共に『コロナ』にはならないよう気を付けて過ごしたいです。今年一年どうぞ宜しくお願い申し上げます。

幸田常一

\*\*\*\*\*



ただいま須賀川の現場を  
お世話になっております。

2021年に思う…

新年明けましておめでとうございます。

昨年は未曾有の環境の中にあっても、黙々と努力する人、前進あるのみと行動する方々に引かれて、一緒に進んでこれたような気がします。

繰り返す色々な歴史の中にあって、常に負けじと、どうすれば克服できるかと真剣に考え、行動する人達がいるから問題解決ができるんだと感じました。

新型コロナウイルスのワクチンが間もなくできて、安心できる環境になって行くような気がします。ワクチン開発に尽力された方々に感謝したいと思います。やはり、希望を持って困難に立ち向かうことが重要なんですね。

希望を持って今年も頑張ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

取締役会長 幸田 一二☺



新年明けましておめでとうございます。


昨年はお客様との御縁もあり、多数の依頼を頂きありがとうございました。水害による復旧作業に勤しんだ年で、工事期間中は大変生活に不自由をかけてしまいましたが、無事住宅の修繕を終わることが出来ました。お客様が新年を自宅で迎えるところまで出来たことは良かったと思います。

今年の干支は丑です。「牛」は古くから、酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。

新型コロナウイルスの蔓延で、まだまだ耐え忍ぶ年になるかも知れませんが地道に仕事をし、アイデアを出し合うことで新たな発展へと繋げる年にして

いきたいと思っています。

今年も宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 渡邊 正勝 

\*\*\*\*\*

昨年もお世話になりました。

毎年思うのですが、どんどん1年が早く過ぎ去ってしまうような気がします。今年で私は入社してから16年目となりまして、学生の頃がずっと昔の事に感じ、随分と長い間皆様にお世話になっているのだと思う反面、入社してからの日々があっという間に過ぎてきたような気もします。

昨年は水害の傷跡が残る中、コロナの影響での物品不足や夏の長雨などで現場が思うように進まない事も多く、ご迷惑をおかけいたしました。

今もまたコロナ禍の中で、県内でも感染者が増加していますので、くれぐれもご自愛下さい。本年もよろしく宜しくお願い申し上げます。

専務取締役 鈴木 信義(^ ^)

\*\*\*\*\*

謹んで年始のご挨拶を申し上げます。

コロナ禍で色々と大変な思いをされていることと思いますが、お体に気を付けてお過ごし下さい。

本年もどうぞよろしく宜しくお願い申し上げます。

佐藤 美穂(\*^^)

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は皆様方には大変お世話になりまして、ありがとうございました。  
本年もご期待にかなうよう努力する所存ですので、よろしく願い申し上げます。

國分 務 (^ ^)

\*\*\*\*\*

明けましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。  
本年も頑張ります！宜しく願い申し上げます。

佐藤 朋彦 ^ - ^

☆☆

昨年は大変お世話になりました。  
ここ数年、読書を続けています。  
今年も多くの本を読みたいと思っています。  
今年も笑顔で頑張ります。  
引き続き、ご指導の程よろしく願い申し上げます。

渡邊正吾(\*^^)v

\*\*\*\*\*



明けましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。

昨年は5月末に星野さんが入社し、一緒に事務作業を行うようになりました。パソコンは私より詳しいので、時々教えてもらうこともあり大変助かっております。

今後も協力し合って頑張ってください。よろしくお願いします。

皆様方にとって、素晴らしい1年でありますようお祈り申し上げます。

幸田 久美 (^ ^)/



明けましておめでとうございます。

入社から早7か月ですが、覚えることがまだまだ沢山あって目が回りそうです。事務作業は何度も確認を行うことが大切だと思いますので、周りの先輩方に指導してもらいながら落ち着いて丁寧に仕事に臨みたいと思います。

今後ともよろしくお願いします。

星野 尚子 (^ ^♪)



令和3年1月5日発行

<後記>

有限会社 幸田建設

今年は1月6日仕事初めです。

<発行責任者>幸田久美

本年もよろしくお願い致します。

〒969-1204

皆様にとって素晴らしい1年で

本宮市糠沢字八幡 1-1

ありますようお祈り申し上げます。

電話 0243-44-3816

(ホノ) ☆

ハンコの話

新年を迎えたが、昨年誕生した菅政権は「デジタル化の推進」を掲げ、それが一方の行政改革と連動していろいろな分野で「押印の廃止」が進められている。そこで今回はいわゆる「ハンコ」について、その歴史や存在意義も含めいろいろな観点から見てみたい。

まず、「ハンコ」の呼び名であるがいくつあるかご存知だろうか。ハンコは判子で、そのほか印、判、印章、印鑑、印判、印形（いんぎょう）、印信などがあるとのこと。あなたは通常何と呼んでいますか。インターネットで検索したら「印章」でアクセスできたのだが、どちらかという、「印鑑」と呼ぶ方が多いのではないかと思うがどうでしょうか。では、ハンコはなぜ用いるのか。現代的定義でいうと、「公私の文書の押して特有の痕跡（印影）を残すことにより、その責任や権威を証明することに用いる」とされている。参考まで。

さてハンコの歴史を振り返ってみよう。我が国でハンコが初めて登場するのは、57年に中国（後漢の時代）から倭（日本）の奴国王に贈られたとされる「漢倭奴国王」の金印（1784年に九州で出土）である。だがそれは、当時押印することで使われることはなかったであろう。文献を辿ると、奈良時代の「日本書紀」に692年持統天皇に木印を奉ったという記述があり、本格的に使われるようになったのは、大化改新の後、701年の大宝律令（法律）の制定とともに官印（役所が使う印）が導入されてからと考えられる。公文書の一面に押印されたのである。しかし、庶民には関係ないものであった。その後は、大名間で押印の代わりに花押（意匠化された署名）が用いられたり、花押では手間がかかるので、また押印が復活したりするなど、江戸時代になるまではこのような状態が続く。

江戸時代になると、行政上の書類のほか私文書にも印を押す慣習が広がるとともに、実印を登録させるために印鑑登録帳が作られるようになる。これが今の印鑑登録証明制度の起源をなすものである。江戸時代の印章は命の次に大事なものに例えられるなど、庶民の財産を保証するものとして重く用いられるようになる。

明治時代になると、商法の規定が設けられる1900年までにほとんどの文書は、自書または署名の代わりに記名・押印すれば足りるとする制度が確立した。今の印鑑登録制度が市町村の事務となったのも明治時代だ。これで我が国に押印文化が定着したのであった。

では、ハンコは何のために用いられるのか、改めて考えて見よう。皆さんはどう思われるか。ハンコを押してくださいと言われた時、三文判であれば余り意識しないで押しているかも知れない。でも、金銭の貸借に関する書類や所有権移転に関する書類などになると、押印の重要性を意識せざるを得ないのではないか。しかも印鑑証明書添付で実印を押印する必要があるとなれば格別の緊張感を伴うものだ。債権債務に関しては、債務者はその期限までに債務を履行しなければならない責任が生ずる。その責任を果たすとの意思表示としての押印である。そこには同じハンコでも、三文判とは違う意味合いがあるのは事実。一方、三文判で済むものであれば、その意思表示について押印まで必要かどうか見直しをした方がいいものは多々あると思われる。ただ本人確認を要すると認められる場合については、ハンコとは別の話で、免許証提示・国民健康保険証を提示する方法を取ればいい。

ハンコの話で小生に関する事。小生は公務員だったが、役所では外部に文書を発する時、その文書について上司の決裁を受ける必要があり、そのため案文を書いた発議書を係から課長まで、ものによっては部長まで上げる。それぞれの役職の判をもらわないといけない。勿論必要な説明も行う。その際のハンコは何を意味したのだろうか。多分「案を了承した」ので「この案でやりなさい」という意味合いだったと思う。そして了承した上司は「責任は私がとるから」という意味合いも含まれていたものと思う。いずれにしても、もらうべきハンコの数は多いのが常であった。今にして思うと、役所はハンコ文化の最たるところであった。サインする上司に出会ったこともないし、小生もしたことがない。

ハンコを巡る話をさらに続けよう。同じ「判を押す」ことについて用語の使い分けがあるという。つまり、「署名（自筆で自分の氏名を書く）」には「捺印」を、「記名（印刷された活字・ゴム印・代筆）」には「押印」を使うというのだ。また、法律的には「押印」を、日常的には「捺印」を使うことが多いというが、皆さんはどうだろうか。もう一つ。書類上の「効力」、すなわち「本人の意思表示を証する」効力の点ではどうなるか。効力の上位から挙げると、「署名＋捺印」が最も強く、次が「署名のみ」、その次が「記名＋捺印」で、「記名のみ」は効力を生じない。この場合「捺印」は「実印」を使用しての話である。それと、ハンコについて正確に理解するため触れておきたいことがある。「印章」と「印影」と「印鑑」の関係である。「印章」は、印材の平らな面（印面）に名前を彫刻した本体部分（いわゆる判子）を指す。「印影」は印面に朱肉を付けて紙に残る文字を指す。「印鑑」は役所や銀行に届け出て登録されたもの。その印影及び印章の所有者が明確で、真偽を確認できる印影が印鑑ということになる。専門的な説明でお分かりいただけるだろうか。

以下の話でもハンコという語を使わしてもらいたい。ハンコは、いずれにしても人生の節目で使うことになる。出生届、進学や就職、転居、婚姻届、死亡届などであり、社会人となると、銀行口座の開設、保険の契約、自動車の購入、家の新築、会社の発起人、遺産の相続など使う場面が多岐に亘ってくる。ハンコは人生の歩みに切っても切り離せない。ところで、同じハンコでも実印のように重要な時に使用するハンコを作るときには、運気を呼び込むような吉の字体で、簡単に複製できないような複雑な字体の方がいい、と誰しも思うだろう。その字体のためにはハンコはちょっと大きめになる。印材もちょっと強度が必要になる。天然素材であれば象牙や水牛角がいいそうだ。これらは朱肉もくつきり付くという。印章業界ではこのような字体のハンコを「印相体」といってお勧めしている。

ところで、新型コロナウイルス感染の感染拡大の中で企業の「脱ハンコ」が進んでいる。例えば、従業員の出勤を抑制するテレワークの浸透で、決済や契約書類について押印を見直す動きが広がっており、加えて、国のデジタル化・行政改革で押印の見直しが進んでいる。これはハンコを製造販売する印章業界にとっては大逆風であり、前途多難である。ハンコの産地としては、我が国の50%を占める山梨県市川六郷町の六郷地区を始め、京都などがあるが、この逆風下新たな道を模索し始めている。例えば、書や日本画、絵手紙の落款印、体験教室で需要を掘り起こしたいとしている。是非頑張ってもらいたい。

ここまで書いてきて、そもそも「ハンコの価値」はいずれにあるのかと思ってしまった。ある意思表示をした人が、間違いなくその人本人であることを証するのは勿論であるが、その外にもっと何かないのだろうか。小生の勝手な考えだが、ハンコ（実印）を押すというというのは、「お互いに信頼して事を進めましょう」という、そこには「信頼をベース」にする思いが込められてきたのではないだろうか。そうすることによって社会は成り立ってきたと小生は思いたい。そういう意味では、ハンコ即ち「実印」の価値（役割）は変わることはないのではないか。また、そう願いたい。皆さんはどう思われるでしょうか。今回はこれで筆を置きたい。

## 阿武隈山地 移ヶ岳・鎌倉岳・五十人山

### 新年山行につなぐ、登山靴6足目、足慣らし山行

11月に購入した新しい靴の足慣らしのため、自宅近在の低山に登り、新年につなげる山行にしたいと思った。

【今回登った山の概要】(百：日本百名山、◎：日本二百名山、○：日本三百名山、  
う百：うつくしま百名山、数字は標高)

- ①12月23日(水) 移ヶ岳(う百、うつしがたけ、995m、田村市(旧船引町))
- ② 29日(火) 鎌倉岳(う百、かまくらだけ、967m、田村市(旧常葉町・船引町・都路村)、花の百名山、東北百名山)
- ③ 同日 五十人山(う百、ごじゅうにんやま、883m、葛尾村、田村市(旧都路村))

例年、子供達からの誕生日プレゼントはいつも登山用品を貰うことにしている。不足分は足し前して。今回は靴が傷んできたので、登山靴にした。これまで最初のキャラバンシューズ(非革)から数えると5足目になっていた。4足目からはシリオ(イタリア製SIRIO)を使っている。今度も同じものにしようと思っていたが、同じ型式のものは製造が中止されていたので1ランク下の残雪期まで対応可能なものを選んだ。従来のは片方で1kgを越えていたが今回の靴は200gくらい軽い。

いきなり雪の安達太良山ではなくて、足慣らしは低山でしたかった。

最近行っていなかった、阿武隈の里山、美峰・移ヶ岳に登ることにした。

### 移ヶ岳

12月23日(水)9:30自宅発。数日前に降った雪は、道路はむろん田畑にもない。しかし里山を縫って走る阿武隈地域の道路はカーブと勾配の変化が多く、日陰のある所は凍っていたりするので怖い。案の定山麓に近づくと危ない箇所が何カ所かあった。美山小学校を目標に進むと標識があり、自宅から約1時間で西側登山口のある瑞宝平に着く。

瑞宝平には、広場・駐車場・トイレ(冬期は使用できない)があり、西側が開けていて阿武隈山地と奥羽山脈との間に、里山が多い中通り平野部が見渡せる。ベンチもあり、季節の良いときはバーベキューなどで賑わうところだ。

新しい靴を履き、紐は緩く結ぶ。10:55スタート、標識には「山頂まで35分」とある。初めは舗装されている緩やかな林道を進む。杉やモミ、広葉樹の落葉の上に雪が数センチ積もっている。靴内部の5指の動き、当たり所、路面のグリップの状況などを確かめながらゆっくり歩く。標識があり直進すれば石切場跡、左折し山道になり、少しずつ勾配と雪が増してくる。山頂手前はロープが設置してある急斜面になり吹きだまりもある。靴内部のかかとの接触の具合を確かめる。



12月29日(火) 天気が良さそうなので、2020年最後の山行に出かける。自宅7時過ぎ出発、8時前萩平駐車場着。靴紐を前回よりも少しきつく調整する。

8:15 スタート、舗装路の林道を5分ほど歩くと標識があり薄暗い杉林の登山道に入っていく。8:48 鍬登山口からの合流地点着。右に行くと樹林のない小広い石切場跡に着くがここからが急登になり、ところどころロープのある露岩部を登る。靴慣らし山行には相応しい道だ。雪も日陰の所は5cmくらいになり、山頂直下の北側斜面の階段の下り上りは慎重に歩き、9:25 露岩の多い山頂着。高さ1m超の石造の天日鷲神社にお参りする。

友人からもらったチーズ入り干し柿を食べながら、平らな岩に貼り付けられた山座同定盤を見て阿武隈の山々を見渡す。23日に登った移ヶ岳は別名美ヶ岳とも呼ばれる、なだらかに裾を引く美しい山容だ。東部には山頂の大きなアンテナが目印となる、鋭鋒の鎌倉岳と対照的になだらかな姿で横たわる五十人山が見えている。20年以上前に、子供達とブリキの一斗缶で造ったかまどと薪、鍋、食材を持って登り、いも煮会をしたことを思い出し、五十人山に登りたいと思った。

10:05 下山開始、つま先部分の足と靴の感触を確かめながら露岩部を滑らないように慎重に下り、10:57 萩平駐車場着。歩行時間2時間の足(靴)慣らし山行を無事終える。靴擦れや当たる所もなく、靴は自分に合っていることを確認した。

### 五十人山

国道288号線をさらに都路方面に進むと左側に日本標準時の電波時計塔の先に「←五十人山キャンプ場」の標識があり、11:40 駐車場に車を止めて登山口の方向を目指す。緩やかな勾配の舗装路を進むと2~3cmくらいの雪が残っていて、昔登った登山口とは違うかも知れないと思いながら進む。15分ほどでキャンプ場の駐車場に着く。ここまでは車で来られたことになる。

5cmくらいの雪のある道の踏み跡を追っていくと南峰と北峰の鞍部に出る。開放感のある広い芝生の公園のようだ。さらに登って行くと大きなアンテナのある南峰の山頂に着く。キャンプ場から30分、山頂の標識はなかったので二等三角点にタッチする。西側には鎌倉岳の雄姿が間近に見える。

鞍部に下り山頂標識と「ふくしま緑の百景」の記念碑を見て、散在するツツジの木の間を登って行くと、北峰に至る。山頂には坂上田村麻呂と弘法大師ゆかりの五十人石と祠があり、葛尾村の案内板に由来が書いてあった。

寒いので、弁当を広げないで下山する。季節の良いときに孫達ときてみたいと思った。

13:05 駐車場着。歩行時間1時間半の五十人山・足(靴)慣らし山行を無事終える。車の中でゆっくりおにぎりを食べて帰路に就く。

## 元旦の計

○昨年の山行（下線部分が昨年新たに登った三百名山(二百名山を含む)で 23 山。一昨年は 8 山。）

1 月 安達太良山、磐梯山、矢大臣山、大滝根山

2 月 蓬田岳、宇津峰山、安積山（額取山）

3 月 雄国山、滋賀県・三重県境：御在所岳（○）・藤原岳（○）

4 月 東海・北陸境：位山（◎）、川上岳（○）鷲ヶ岳（○）、大日ヶ岳（○）

5 月 花塚山、口太山、麓山、日山（天王山）

6 月 高簇山

7 月 猫魔ヶ岳

北海道：余市岳（○）、暑寒別岳（◎）、天塩岳（◎）、ニセイカウシュッペ山（○）、オプタテシケ山（○）、芦別岳（◎）、駒ヶ岳（○）、大千軒岳（○）、狩場山（○）

9 月 東海・北陸境：冠山（○）、能郷白山（◎）、経ヶ岳（○）、三方岩岳（○）

10 月 紀伊半島：伯母子岳（◎）、護摩壇山（○）、釈迦ヶ岳（◎）、山上ヶ岳（○）

11 月 那須山・茶臼岳(百)

12 月 移ヶ岳、鎌倉岳、五十人山

○三百名山 23 山のうち 17 山はマイカー車中泊。6 山は民宿泊（山小屋 1 泊含む）だったが、全て客は自分一人だった。登山者を一人も見かけなかった山行が 5 山だった。

○九州と四国の山は終わり、東北 6 県・新潟県では佐渡ヶ島の金北山を残すのみ。残っているのはアルプス周辺の山、関西（紀伊半島の山は終わり）、中国地方、北海道など遠方の山だ。1 月 1 日現在、三百名山のうち残っている山は 40 山(暫定：一部不確かな山あり)。

○今年は、新型コロナ感染症がどのように推移するかだ。多くの山小屋が休業すれば、登る山も限定される。終息に向えばいろいろな行事が復活し、野暮用が多くなる。ボランティア団体の役職が回ってくることもあるので、昨年よりは山行機会が減る可能性がある。

○令和 3 年の目標

・三百名山：車で行けるアルプス周辺の山を重点的に登ること。

北海道の山は残り 7 山。具体的な山行計画を練り実行すること。

・紀伊半島の大峰奥駆道（吉野～熊野本宮、山中 5 泊か？）に挑戦すること。

・体力保持のため、近在の山に登ること、スポーツジムでの有酸素運動と筋トレに励むこと。

令和 3 年 1 月 NO 9 8 アンチ・エイジング 山旅遊人